

## 社会調査の基礎

問題 84 現行の統計法に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 一般統計調査は、行政機関が行う統計調査のうち基幹統計調査以外の調査のことをいう。
- 2 基幹統計調査である国勢調査は、10年ごとに無作為抽出による調査が行われる。
- 3 調査を実施する行政機関は、その機関内に統計委員会を置かなければならない。
- 4 基幹統計の公表の場合には、インターネットを利用した公表が禁じられている。
- 5 成年被後見人には、基幹統計調査の報告を求められることはない。

問題 85 社会調査における個人情報保護に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 社会調査は公益性が高いため、調査で得られた個々の調査対象者の氏名、性別、年齢などの属性は、公表すべきである。
- 2 社会調査で得られたデータを共同研究者と検討する際には、調査対象者の意向にかかわらず、個人情報を秘匿しなくてよい。
- 3 社会調査の標本抽出が目的であれば、選挙人名簿あるいは住民基本台帳から自由に個人情報を得ることができる。
- 4 社会調査は、調査の目的、収集データの利用方法、そして結果の公表の方法をあらかじめ文書あるいは口頭で調査対象者に知らせ、了解を取った上で実施する。
- 5 量的な調査では、調査対象者の氏名や回答者番号が書かれた対象者リストと調査票を、一緒にまとめて管理しなければならない。

問題 86 全数調査と標本調査に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 標本調査の場合、測定誤差は生じない。
- 2 無作為抽出による標本調査の場合、母集団の性質について統計的に推測できる。
- 3 標本調査の場合、標本誤差は生じない。
- 4 全数調査の場合、測定誤差は生じない。
- 5 全数調査の場合、母集団から一部を取り出し、取り出した全員を対象に調査する。

問題 87 横断調査と縦断調査に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 トレンド調査とは、同一対象者を継続的に追跡することを通じて、調査対象者の変化を知ろうとする調査法である。
- 2 同じ調査票を用いて、4月にR市、5月にS市で調査を行えば、縦断調査といえる。
- 3 パネル調査では、調査の回数を重ねるにつれてサンプル数が増加する。
- 4 横断調査は、ある一時点での特定の市で実施する市民意識調査は含まれない。
- 5 横断調査では、因果関係を特定するに当たり制約が伴う。

問題 88 質問紙調査の方法に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 郵送調査法は、返送時に氏名を記入する必要があるため、匿名性を確保するのが難しい。
- 2 訪問面接調査法は、プライバシーに関わる質問をするのに適している。
- 3 複雑で難しい質問には、自記式で質問紙に記入する方法が適している。
- 4 留置調査法は、他記式なので、記入漏れや記入ミスを抑制できる。
- 5 調査対象者本人の回答であるかを確認するには、他記式による記入が望ましい。

問題 89 質問紙の作成に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 「糖尿病予防のために食事や運動に気を付けていますか」というように、複数の事柄は一つの質問文で尋ねる方が望ましい。
- 2 前の質問の回答が次の質問の回答に影響を与えることを促すような質問の順番にすることが望ましい。
- 3 「家事は一般的に夫婦で平等に分担すべきですか」という質問文では、回答者が自分の家庭でそうすべきだと考えているかどうかは分からない。
- 4 意識調査の質問では、回答を明確にするために「どちらともいえない」という選択肢を設けてはならない。
- 5 調査票のレイアウトや色を工夫することは、回答をゆがめることになるので行うべきではない。

問題 90 質的調査に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 エスノメソドロジーの会話分析は、民族の文化を描き出す方法である。
- 2 グラウンデッド・セオリー・アプローチでは、分析を進めた結果としてこれ以上新しい概念やカテゴリーが出てこなくなった状態を、理論的飽和と呼ぶ。
- 3 非構造化面接とは、インタビューの質問項目をある程度計画しておき、話の流れに応じて柔軟に聞き取りをしていく方法である。
- 4 トライアングレーションとは、調査者と調査対象者が協力して行う調査方法である。
- 5 フォーカスグループインタビューとは、無作為に選ばれた調査対象者を集め、グループで聞き取りを行う方法である。